

1. 平成23年度 本園の重点目標 : 保護者に信頼される園、子供と信頼関係を築ける職員  
研究発表を通して、園内研修をより充実させる

2. 自己評価に対する学校関係者評価

I 「保育の計画性」についての検証結果及び改善策について

園の教育方針については園長先生が繰り返し口にするので教職員にも伝わっていくし、教育課程については主任もその様に職員に意識させる必要がある。  
環境を通しての保育については、園内研修のテーマにしてはどうか。

II 「保育の在り方、幼児への対応」についての検証結果及び改善策について

職員間で自由に意見を言い合う雰囲気は作るのがなかなか難しい。園長、主任、ベテラン職員が中心となって、言い方の手本を見せたり、若い職員が失敗を怖がらずに、自分の考えを言えるにはどうしたらよいかを共通理解しておく。

III 「教師としての資質や能力・良識・適性」についての検証結果及び改善策について

教育要領の中にも公共の物を大切にしたり、ルールを守る大切さを子どもたちが経験の中で理解することがうたわれている。まずは教職員がそれを理解しないと、子どもたちにそれを伝えられない。

IV 「保護者への対応」についての検証結果及び改善策について

気になる親は表面上見えている様子の裏に深い物を抱えている場合が多い。それを理解しようとするところから信頼関係が生まれるのではないか。

V 「地域の自然や社会とのかかわり」についての検証結果及び改善策について

保護者と職員の信頼関係がないと、どんなに先生や園がいい保育や活動をしても、表面的にしか園のことを理解してもらえないので、日頃からちょっとしたコミュニケーションをとる努力をすることが大切。

VI 「研修と研究」についての検証結果及び改善策

研究発表の年でなくても、気軽に園内研修を行う工夫が大切だと考える。

3. 今後に向けての園の考え（学校関係者評価を受けて）

まずは園長が園の方針を職員が理解していくように繰り返し伝える努力をする。また、職員同士がよく信頼し合い、お互いの失敗を許したり、認め合うことが大切。